

大室山 小室山

# 市議会だより

表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。



## これから4年間の任期に臨む 第20期市議会議員の20人

### 主な内容

- 新議会構成 ……………【 P. 2】
- 臨時会の概要 ……………【 P. 4】
- 9月定例会の概要 ……………【 P. 5】
- 決算大綱質疑（7議員が質疑）…【 P. 8】
- 常任委員会だより ……………【 P. 11】



# 新 議会構成決定

正副議長の選挙、各常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任を行いました。

# 臨時会

第二〇期市議会議員の初議会となる臨時会を一〇月一二日開会しました。

## 正副議長



第73代副議長  
青木 敬博  
あおき よしひろ



第77代議長  
中島 弘道  
なかじま ひろみち

## 常任総務委員会

企画部、危機管理部、総務部、市民部の所管に属する事項及び他の常任委員会の所管に属さない事項を審査します。



委員  
虫明 弘雄  
むしあき ひろ



委員  
村上 祥平  
むらかみ しょうへい



副委員長  
四宮 和彦  
しのみや かずひこ



委員長  
佐藤 周  
さとう しゅう



委員  
田久保 眞紀  
たくぼ まき



委員  
杉本 一彦  
すぎもと かずひこ



委員  
長沢 正  
ながさわ まさし

※中島弘道議長は、議長の職に専念するため、就任と同時に委員会活動を辞退します。

## 議会運営委員会

定例会・臨時会の会期、議案審議予定に関する事、議員提出議案、請願書、陳情書、動議の取扱いに関する事、議会関係人事案件に関する事、議会関係例規の制定改廃に関する事、各種の儀礼に関する事、議会図書室に関する事、議長の諮問に関する事、その他議会運営に関する事とを協議します。

## 市議会内 会派の結成

令和五年一〇月一二日現在

新しく構成された市議会に次のとおり六つの会派が結成されました。

(◎) 会派代表者、  
会派構成議員は議席順)

- 委員長 宮崎 雅薫
- 副委員長 杉本 一彦
- 委員 佐藤 周
- 〃 井戸 清司
- 〃 河島紀美恵
- 〃 長沢 正

## 常任観光建設委員会

観光経済部、農業委員会、建設部、上下水道部の所管に属する事項を審査します。



委員  
たけもとりきや  
竹本力哉



副委員長  
すずきあやこ  
鈴木絢子



委員長  
いどきよし  
井戸清司



委員  
いぬかい  
犬飼このり



委員  
あさだよしひろ  
浅田良弘



委員  
あおきよしひろ  
青木敬博

## 常任福祉文教委員会

健康福祉部、教育委員会の所管に属する事項を審査します。



委員  
みやざきまさしげ  
宮崎雅薫



副委員長  
すぎもとかずや  
杉本憲也



委員長  
しのはらみねこ  
篠原峰子



委員  
しげおかひでこ  
重岡秀子



委員  
おおかわかつひろ  
大川勝弘



委員  
かわしまきみえ  
河島紀美恵

### ■正風クラブ

村上 祥平 議員

鈴木 絢子 議員

◎佐藤 周 議員

宮崎 雅薫 議員

### ■自由民主 伊東

虫明 弘雄 議員

河島紀美恵 議員

中島 弘道 議員

◎井戸 清司 議員

### ■公明党

◎長沢 正 議員

竹本 力哉 議員

篠原 峰子 議員

### ■伊東未来

青木 敬博 議員

◎大川 勝弘 議員

杉本 一彦 議員

### ■政和会

◎四宮 和彦 議員

杉本 憲也 議員

### ■はなで 彌

田久保真紀 議員

◎浅田 良弘 議員

犬飼このり 議員

重岡 秀子 議員

※第二〇期議員の任期は、令和五年九月三〇日から令和九年九月二九日までになります。

# 令和5年10月12日臨時会で 審議した議案等

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市選第16号	監査委員選任の同意について	長沢正議員（議員のうちから選任する委員）	市長	賛成多数で選任に同意
市選第17号	公平委員会委員選任の同意について	朝日啓之氏（再任）	市長	全会一致で選任に同意
発議第1号	前正副議長に感謝状の贈呈について	宮崎雅薫前議長、大川勝弘前副議長の在任中の功績に対する感謝状の贈呈	議員8名*	全会一致で可決
発選第3号	議長の選挙	有効投票19票のうち、中島弘道議員が19票で当選	—	—
発選第4号	副議長の選挙	有効投票14票のうち、青木敬博議員が14票で当選	—	—
発選第5号	議会運営委員会委員の選任について	2ページをご覧ください。	議長	全会一致で可決
発選第6号	常任委員会委員の選任について	2、3ページをご覧ください。	議長	全会一致で可決
発選第7号	駿東伊豆消防組合議会議員の選挙	任期満了（令和5年9月29日）に伴う駿東伊豆消防組合議会議員の選挙 有効投票19票のうち、杉本一彦議員7票、佐藤周議員6票、虫明弘雄議員4票、田久保真紀議員2票で、杉本一彦議員、佐藤周議員、虫明弘雄議員の3人が当選	—	—

※各会派代表者及び会派に所属していない議員全員



前副議長に感謝状を贈呈（写真右が大川前副議長）



前議長に感謝状を贈呈（写真右が宮崎前議長）

# 令和5年9月定例会

## 令和4年度 一般会計・特別会計・企業会計決算を認定

9月定例会を8月28日から9月8日までの12日間の会期で開会しました。

### 市長による決算概要説明（要旨）

#### 予算編成の背景

令和四年度一般会計当初予算は、「新しい伊東スタイルへの挑戦 みんなで創る新たな未来」を市長経営方針に位置づけ、公約に掲げた「未来を拓く取組」の三本柱である「みんながつくる伊東市」、「みんなが暮らす伊東市」、「みんなが暮らす伊東市」に係る事業の一層の進展及び国際観光温泉文化都市としての発展と安全・安心な市民生活の両立を目指した編成とした。

#### 一般会計決算概要

一般会計歳入決算額は対前年度比三・四％の減、歳出決算額は二・七％の減となり、歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、前年度を四・〇％下回る八億六四七二万六〇〇円であった。

歳入決算では、自主財源において、市税、ふるさと

伊東応援寄附金及び競輪事業収入の増加等により、対前年度比六・七％増加したものの、依存財源において、国庫支出金の減少などから、対前年度比一・〇％の減となり、歳入全体では三・四％の減少となった。

歳出決算では、経常経費において、定年退職者の増加などにより人件費が一・七％、物価高騰等により物件費が一・〇・六％増加したが、子育て世帯への臨時特別給付金の終了などにより扶助費は九・〇％減少した。投資的経費については、普通建設事業において、放課後児童クラブ建設事業や学校統合環境整備事業などを実施したものの、市民運動場人工芝生化事業などが完了したこと、対前年度比で二六・八％と大きく減少した。

#### 本市の財政状況

本市の財政は、これまで

## 令和4年度 一般会計・特別会計・企業会計決算

◎全会一致で認定

### 一般会計決算

歳入	歳出	審議結果
312億6,444万円	301億5,542万円	◎

### 特別会計決算

会計	歳入	歳出	審議結果
競輪事業	332億9,618万円	326億3,409万円	◎
国民健康保険事業	86億3,049万円	84億9,955万円	◎
土地取得	5,629万円	5,623万円	◎
霊園事業	5,098万円	5,059万円	◎
介護保険事業	89億8,942万円	88億2,500万円	◎
後期高齢者医療	23億1,860万円	22億9,122万円	◎
合計	533億4,196万円	523億5,669万円	◎

※計数は、それぞれ1万円未満を四捨五入しているため、合計と内訳は一致しない。

### 公営企業会計決算

区分	収入	支出	審議結果	
病院事業	収益的収支	4億3,874万円	3億7,536万円	◎
	資本的収支	1億 382万円	1億6,450万円	
下水道事業	収益的収支	16億3,521万円	16億 303万円	◎
	資本的収支	8億7,978万円	13億6,708万円	
水道事業	収益的収支	16億1,224万円	15億7,515万円	◎
	資本的収支	2億8,000万円	8億2,969万円	



一貫して継続してきた様々な改革への取組により、適正とされる規模の黒字を確保するとともに、公共施設総合管理基金等への積立てなど、将来を見据えた財源の確保が図れていることなどから、健全化判断比率や経常収支比率、実質収支比率などの財政指標も含め、その健全性は維持できていると判断している。

これまで「有言実行!! みんなとともに」を基本理念に、これまで「伊東の魅力発信し、文化を高め、観光の振興と産業の育成によって、みんなが夢を形にできる未来を拓く」施策の推進に邁進してきた。ウィズコロナ、アフターコロナにおいても、市民の皆様が主役の明るい伊東を実現するため、市民と行政が知恵を出し合い、全員参加で未来を見据えた新しい伊東スタイルの構築に向け、本市の発展に努めていく。

## 令和5年9月定例会

## 23件の議案等を審議、決定

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市報第5号	令和4年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づく健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）及び公営企業会計の資金不足比率の報告	市長	報告・質疑のみ
市議第6号	伊東市印鑑条例及び伊東市手数料徴収条例の一部を改正する条例	利用者証明用電子証明書を移動端末設備に搭載することが可能となったことから、多機能端末機による証明書の交付申請（コンビニ交付）について、移動端末設備を利用する方法を追加するとともに用語の整理を行う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第7号	伊東市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員法の一部を改正する法律施行による、伊東市一般職の職員の給与に関する条例の改正に伴い、育児短時間勤務職員及び任期付短時間勤務職員の給与条例の特例部分に係る読替規定について整理を行う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第8号	伊東市競輪事業収益金活用基金条例	一般会計における競輪事業特別会計からの繰入金について、これまで以上に用途を明確にするとともに、複数年次において有効的に活用していくため、新たに基金を設置するもの	市長	全会一致で可決
市議第9号	伊東市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律等の公布に伴い、引用部分等について整理を行う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第10号	伊東市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	子ども家庭庁設置法等の施行に伴う厚生労働関係省令の整備等に関する省令の施行に伴い、本条例中、保育の内容に関する部分において、所管大臣を厚生労働大臣から内閣総理大臣へ改める条例改正	市長	全会一致で可決
市議第11号	伊東市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	子ども家庭庁成育局長通知、「放課後児童健全育成事業」の実施についての施行により、放課後児童支援員とみなすことができる者の要件が緩和されたことに伴い、引用部分を整理するとともに、設備の基準について経過措置の延長等を行う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第12号	令和4年度伊東市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	令和4年度伊東市下水道事業会計未処分利益剰余金8,117万4,865円の全てを減債積立金へ積み立てることについて、地方公営企業法の規定により、議会の議決を求めるもの	市長	全会一致で可決
市議第13号	令和4年度伊東市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	令和4年度伊東市水道事業会計未処分利益剰余金3,598万8,068円の全てを資本金へ組み入れることについて、地方公営企業法の規定により、議会の議決を求めるもの	市長	全会一致で可決
市議第14号	令和5年度伊東市一般会計補正予算（第3号）	令和5年6月に発災した鎌田地区における市道災害復旧事業をはじめとする各種事業経費の追加及び令和4年度事業費確定に伴う国県支出返還金等の追加並びに基金への積立てなど、7億5,587万3,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第15号	令和5年度伊東市土地取得特別会計補正予算（第1号）	伊東駅周辺地区整備事業における計画区域内の土地の一部を取得するための経費として1,352万6,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第16号	令和5年度伊東市下水道事業会計補正予算（第1号）	湯川終末処理場焼却棟外壁の壁面の展示を終了するため、塗装に係る修繕費用として646万1,000円の追加	市長	全会一致で可決

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市認第5号 市認第14号  討論	令和4年度伊東市一般会計歳入歳出決算、特別会計歳入歳出決算6件、企業会計決算3件	地方自治法第96条第1項第3号に基づく各会計の令和4年度歳入歳出決算の認定	市長	5ページをご覧ください
請願第1号  討論	伊東市新図書館建設事業の見直しを求める請願	委員会不採択理由：本請願は、新図書館建設事業について「事業内容をゼロベースから見直すこと」を求めているが、これまでの検討経過における市民の声を尊重しているか疑念が残ることや、請願書の要件不備の懸念が払拭できないことから不採択	不採択とすべしとした委員会報告のとおり賛成多数で不採択	

## 本会議で行われた討論の概要

※登壇順に掲載しています。

### 市認第五号

#### 令和四年度伊東市一般会計歳入歳出決算

#### 《賛成》正風クラブ

コロナウイルス感染症の影響が残る年度において移住定住で二七四人の社会増を生み出したこと、ふるさと納税の増加や市役所のDX化についても順調であること、そして祝金や、学校給食費の免除で子育て世代への支援や、市内経済に対してクーポン券発行など、やるべきことがやれていたと考えることから認定する。

会派構成は10ページをご覧ください

《賛成》日本共産党  
多種多様な移住促進策の拡大や、学校統合の際の学童保育所の建設、二、三期の給食費の免除などは評価できる。ただし免除の継続は検討すべきだった。イベントによる中心市街地の活性化は効果が不十分。実質収支の黒字決算を、経済対策や市民生活の向上など

に有効に生かすことを要望し、認定とする。

#### 《賛成》公明党

令和四年度は、コロナ禍にして三年目の予算立て、事業執行となった。学校統廃合整備事業や物価高騰対策のプレミアム付商品券事業など時代状況に沿った事業が執行されたと判断する。今後、新図書館建設、駅前整備事業などの計画もあり、財政健全化の維持と本市発展に期待し、認定とする。

#### 請願第一号

#### 《採択に賛成》日本共産党

本請願の趣旨については、委員会審査の中でゼロベースからの見直しは全くの白紙撤回でないことが確認できた。会派として新図書館建設に賛成していること、入札不調を機に計画を見直せること、市民参加で新図書館を作ることは、多くの

市民に活用される図書館になるものと考えるところから、請願採択に賛成とする。

#### 《採択に反対》正風クラブ

請願者代表から「市民団体の方々から聞いている話では」や「私はこう解釈している」という表現が度々あり、さらに請願文章は私を作った文章ではないとの表現もあった。請願者代表の説明と請願文章にあまりに差異があり、請願文章が一五〇〇人の請願者の意見を反映しているものとは思えないことから採択に反対。

#### 《採択に賛成》無党派派

今回の請願は市民一人一人が請願人となり、計画を一度中断して事業内容をゼロベースから見直すことを求めるものである。手続の不備を主張する意見があるが、手続に問題が無いことは事前に確認されている。一六〇三名の市民の声を議会が門前払いしてはならないと考えることから採択すべしとする。

#### 《採択に反対》四宮和彦議員

請願第一号は、伊東市議会会議規則が定める形式的要件を欠いており、手続上の瑕疵があるため、採択に反対する。このような瑕疵を見越した議会事務局には、深く反省するとともに自らの業務の研さんに努め、再度同様の請願が提出される場合には、正当な手続に基づき、提出に助力することを求める。

#### 《採択に反対》清友会

実質的審査対象たる請願文書表に会議規則違反の記載があるほか、委員会審査答弁で請願者の願意と異なる請願の可能性が生じたため請願法第二条の趣旨の観点から反対するが、市や改選後の議会には、市民へのより丁寧な説明とビジョンたる新図書館基本構想実現手段の妥当性につき現計画の徹底した再検証を求める。



# 決算大綱質疑



動画はこちら

## 6会派及び会派に所属していない1議員が質疑しました

～決算概要説明及び各会計決算に係る議案について～

(文書の掲載量は、会派の人数に応じており、登壇順に掲載しています。会派構成は10ページをご覧ください。)

**市長** 福祉関係団体へ成年後見制度に関する説明を行うとともに、相談業務や制度利用を支援する業務を行った。

成年後見支援センターについては、成年後見制度の利用に関する包括的な支援を行う権利擁護支援機関として、令和四年度から社会福祉協議会に委託し運営を開始した。

実績としては、地域福祉関係団体へ本制度について説明を行い、また、窓口や電話において三七件の相談を受け付け、申立支援など、九件の制度利用に関する業務を行った。さらに、市民後見人養成講座において、令和四年度は八人の方が受講を修了し、また、令和三



正風クラブ  
あおき よしひろ  
(青木敬博議員)

成年後見支援センター運営事業の実績について伺う

**市長** 家計急変世帯として支給した世帯数は五一件である。

価格高騰緊急支援給付金給付事業については、物価高騰により、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等の低所得世帯に対し、国の臨時的な支援策として、一世帯当たり五万円を支給するものであり、本市の支給実績としては、一万一〇六三世帯に支給した。

そのうち、家計急変世帯に対する対応実績としては、広報いとう、市ホームページ、報道機関による記事掲載による周知のほか、生活困窮相談窓口などでの案内により申請を受け付け、住民税課税世帯ではあるものの、予期せず家計が急変し、

価格高騰緊急支援給付金給付事業における家計急変世帯等への対応実績を伺う

年度の養成講座修了者に対するフォローアップ研修も実施し、市民後見人の養成に努めた。

**市長** 対前年度比一・〇%の増加であり、今後も高齢化に伴い増加が見込まれる。

介護保険事業特別会計における歳出全体の約九割を占める保険給付費については、令和四年度、七九億八一〇六万七九六二円で決算し、前年度に対し、七七六九万四一六〇円、一・〇%の増となった。この要因としては、後期高齢者が増加していることにより、前年度と比較して、要介護認定者が五七人増加しており、その中でも、要介護四以上の介護度が高い高齢者が増

介護保険事業特別会計における保険給付費について、令和四年度実績及び今後の見通しを伺う

住民税非課税世帯に相当する収入状況であると確認できた五一世帯に対し支給を行い、その他の支援が必要と思われる世帯に対しては、適切な支援制度につながるよう対応した。

**市長** 事業完了により維持管理経費が削減され、その跡地は多目的広場として活用されている。

スカイポート亀石については、老朽化の進んだ建物の解体や撤去等の完了によ

スカイポート亀石解体事業の事業効果及び今後の展望を伺う



自民・維新の会  
なかじま ひろな  
(中島弘道議員)

加傾向にあることなども、給付費増の一因であると考えている。

今後、団塊の世代が後期高齢者へ移行していくことにより、介護を必要とする高齢者も必然的に増加していくものと思われ、これに併せて、保険給付費も年々増加していくものと考えている。

『その他の質疑』二一項目



り、維持管理に係る経費が削減され、また、その跡地を多目的広場へと整備し、静岡県道路公社主催のイベント等に活用されている。

また、現在、静岡県道路公社が料金所の再編・移転を計画しており、移転後は料金所を通らずに多目的広場に行くことができるようになるため、利便性の向上が図られることとなる。

今後については、多くの市民が気軽に活用できるように、活用方法に関する検討と適切な維持管理に努めていく。

後期高齢者医療特別会計の一般会計繰入金金の増加要因及び今後の見通しを伺う

市長

被保険者の増加により、歳出のうち各種負担金が増額したため一般会計繰入金を増加し対応した

後期高齢者医療特別会計における一般会計繰入金金の増加要因については、被保険者の増加により、歳出の

療養給付費負担金及び保険基盤安定負担金が増加したことに対応するための増加である。

今後の見通しについては、一般会計繰入金金の多くを占める療養給付費繰入金は、後期高齢者の医療費に対する定率財源であることから、被保険者が増加し、医療費が増加する間は、一般会計繰入金も増加していく状況となる。

『その他の質疑』一三項目



公明党 鳥居康子議員

認定こども園整備に向けた進捗状況を伺う

市長

幼稚園・保育園職員を対象に、将来の認定こども園化に向け会議を実施している

令和四年度に「伊東市立幼稚園・保育園の再編及び認定こども園整備に向けた

基本方針」を策定し、本市の公立幼稚園・保育園は、今後、可能な範囲で統廃合を進め、認定こども園化を推進する考えを示した。

本基本方針の下、幼稚園・保育園職員を対象に、本市が目指す将来の認定こども園について話し合うためのワーキンググループを立ち上げ、令和四年度から継続的に会議を開催し、相互理解を深めるとともに、保護者が安心して子供を預けることができる組織づくりに向け、取り組んでいるところである。

キャッシュレス決済ポイント還元事業の実績及び事業効果について伺う

市長

市内経済の活性化が図られるとともにキャッシュレス決済の普及が進んだ

キャッシュレス決済ポイント還元事業については、消費者の負担軽減及び市内経済の活性化を図るため、PayPayを対象として

決済時のポイント還元を実施した。

事業の実績としては、総事業費約一億六〇〇〇万円に対し、キャンペーン期間である令和五年二月の一个月間で、約九億四二〇〇万円に及ぶ直接消費が生まれ、事業効果については、消費喚起により市内経済の活性化に大きな効果をもたらすとともに、事業者及び消費者に対し広くキャッシュレス決済の普及に寄与することができたと考えている。

『その他の質疑』九項目



清友会 杉本憲也議員

本市の財政の健全性について伺う

市長

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき算出される全ての指標において健全財政を維持している

令和四年度一般会計決算の実質収支額は、前年度と比較すると減っており、単年度収支ではマイナスとなっているが、地方公共団体の標準財政規模に対する実質収支額の割合である実質収支比率については、適正とされている三%から五%程度の水準に対し、本市は五・三%であり、適正な実質収支額となっている。

また、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき算出される各指標についても、実質赤字比率及び連結実質赤字比率は全ての会計が黒字のため数値が算出されず、実質公債費比率は、早期健全化基準二五・〇%に対し五・六%、将来負担比率も早期健全化基準三五〇・〇%に対し一・六%となっていることから、全ての指標において健全財政を維持している。

『その他の質疑』四項目





日本共産党  
さとうりゅうけん  
(佐藤龍彦議員)

令和四年度に新たに取組んだお試し移住支援事業補助金等の実績について伺う

市長

移住希望者からは、利用しやすいとの高い評価を受けており、実際に六組一四人の移住につながった

移住定住促進事業のうち、「お試し移住支援事業補助金」については、本市における移住定住の促進を目的に、移住希望者が、市内での住まい探し、仕事探し、移住に関する相談または生活環境の確認等を目的とした現地活動を実施する際に要する宿泊費用の一部を助成するものであり、一人につき一泊三〇〇〇円を上限とし、年度内で通算一〇泊までを補助対象とし、令和四年度は二八件の利用があった。

本事業について、利用者からはおおむね高い評価を得ており、利用のあった二八件のうち、六組一四人が実際に本市に移住するなど、移住希望者にとって利用しやすく、かつ移住に直結する効果の高い事業となっている。

『その他の質疑』 三項目



無党派 颯  
いぬえ たけまさ  
(田久保真紀議員)

観光商工費におけるYUKATAにぎわい演出事業の成果について伺う

市長

コロナ禍においても、多くのお客様に浴衣で街歩きを楽しんでいただき、消費拡大にも一定の効果があった

本事業については、「浴衣で街歩き」をコンセプトに、七月一日から九月三日までの期間で、伊東温泉観光・文化施設「東海館」

に浴衣レンタルスペース「ゆかたび」を開設し、市街地のにぎわい創出と市内消費の拡大を目指した事業を実施したものである。

令和四年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、ウェブサイトによる完全予約制としたが、対前年度比で三五八%、二八三人の方にご利用いただいた。また市内の五三店舗の協力を得て、浴衣で来店されたお客様に対し、店舗独自のサービスをご提供いただいたことなどにより、コロナ禍にあっても、週末を中心に多くの利用があり、消費拡大にも一定の効果があった。

『その他の質疑』 六項目



しのみやかずひこ  
四宮和彦議員  
(会派に所属していない)

財政調整基金の積立額は妥当な水準であるか伺う

市長

財政調整基金の適正規模については、一般的に標準財政規模の一五%から二〇%程度が望ましいと言われる中で、令和四年度の本市の標準財政規模に対する割合は二〇・八%となっていることから、適正な規模を確保できているものと考えている。

『その他の質疑』 二項目

閉会中の議会活動

令和5年6月定例会閉会から令和5年10月臨時会開会まで

- 7月31日 議会報編集委員会
- 8月 3日 常任観光建設委員会協議会
- 8月21日 議会運営委員会
- 8月24日 議会活動活性化協議会
- 9月 8日 常任総務委員会協議会
- 10月 2日・3日 議員行政研究会
- 10月 6日 全員打合せ



令和五年九月定例会中の  
市議会内の会派構成

■正風クラブ

仲田 佳正 議員

鈴木 絢子 議員

宮崎 雅薫 議員

◎青木 敬博 議員

佐藤 周 議員

■公明党

鳥居 康子 議員

篠原 峰子 議員

◎長沢 正 議員

■自民・維新の会

大川 勝弘 議員

中島 弘道 議員

◎杉本 一彦 議員

■清友会

杉本 憲也 議員

◎井戸 清司 議員

■日本共産党

佐藤 龍彦 議員

◎重岡 秀子 議員

■無党派 颯

田久保真紀 議員

◎浅田 良弘 議員

■会派に所属していない

石島 茂雄 議員

四宮 和彦 議員

(◎) 〓 会派代表者、  
会派構成議員は議席順)

# 常任委員会だより

～8月31日、9月1日に行われた常任委員会審査の中から、一部を抜粋～

ホームページにおいて、  
各委員会要点記録を公開しております。 [各委員会要点記録はこちら](#)



## 総務委員会

**問**伊東市競輪事業収益金活用基金の設置目的を伺う。

**答**競輪事業特別会計から一般会計に繰り入れられた競輪事業収益金について、これまで以上にその用途等を明確化するとともに、繰入れ年度だけでなく、次年度以降の事業財源として有効に活用していくため、基金を設置するものである。

**問**マイナンバーカードにおけるスマホ用電子証明書搭載サービスの概要を伺う。

**答**マイナンバーカード保有者について、カードに格納されている電子証明書機能を対応可能なスマートフォンに搭載させることで、これまで、マイナンバーカードを使用しないとできなかったマイナポータルの利用や、住民票の写しの取得等のコンビニ交付サービスの利用などを、スマホだけでできるようになるものである。

また、将来的には、健康保険証としての利用も予定されている。

はじまりました！

### スマホ用電子証明書搭載サービス

2023年5月11日より、まずはAndroidから！

**Q** どういうサービス？

**A** あなたのマイナンバーカードのICチップに格納されている署名用電子証明書を使って、あなたのスマホに、新たにスマホ用電子証明書を搭載するサービスです。

**Q** マイナンバーカードなしで、スマホだけで、様々なサービスの利用や申込ができるようになりますか？

**A** これまでマイナンバーカードの電子証明書を使わないと受けられなかったサービスが、順次、あなたのスマホだけで利用できるようになります。

令和5年5月から始まった  
スマホ用電子証明書搭載サービス

## 観光建設委員会

**問**花咲く伊東整備事業で実施した花壇整備の取組内容及び今後の展望を伺う。

**答**国道135号のバイパス沿いを中心に季節の花を植えていたが、花壇の維持管理に危険を伴うこともあることから、試験的に管理が容易な植物に植え替えた。今後は、市民から時代に合った花壇を望む声もあることから、花と海といで湯の街として、花に注力した事業を展開していきたい。

**問**鎌田地内で発生した崩落箇所への対応状況を伺う。

**答**既に崩落を防ぐ処置のほか、再び崩落した場合に備えた施設を設置する応急復旧工事を完了し、周囲の安全を確保している。今後は、本格的な復旧工事を予定していることから、用地測量を行い、関係地権者と境界確認や本復旧工事に向けた設計等の作業を進めている。



被害拡大を防ぐ処置を施している  
鎌田地内の崩落箇所

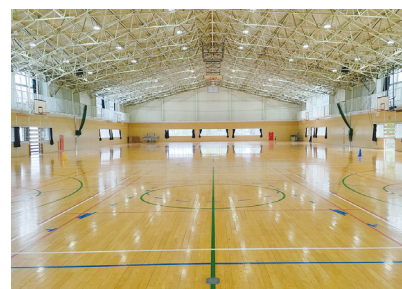
## 福祉文教委員会

**問**北里柴三郎博士顕彰碑建立に併せ行われる事業の詳細を伺う。

**答**松川遊歩道への北里柴三郎博士顕彰碑建立に伴い、ノーベル生理学・医学賞を受賞された北里大学特別栄誉教授である大村智博士の講演会を令和6年1月に開催する予定である。子供たちへ話を届けたいとの博士の意向もあることから、市内小・中学校への周知に努める。

**問**部活動指導の外部委託の概要を伺う。

**答**国の中学校部活動の地域移行推進を受け、部活動の持続可能な環境を構築するため、実証事業として一部の学校において先行して、教員以外の指導者に部活動の単独指導を委託して行うものである。指導員の人件費のほか、交通費、保険料など、他市町の状況等に鑑みながら委託料を積算した。



南中学校の男子バレー部及び女子卓球部の部活動指導の外部委託を予定している

### 議員行政研究会

今後議員活動を行う上において必要となる基礎的事項に関し理解を深めていただくため、九月二四日の市議会議員選挙において当選した新人議員四人、元職員一人を対象に、研修会を実施しました。

(二〇月二日)

■ 執行機関の概要説明  
(二〇月三日)

- ・ 市内各施設の視察
  - ・ 文化財管理センター
  - ・ 環境美化センター
  - ・ 競輪場
  - ・ 学校給食センター
  - ・ 健康福祉センター
- 議事機関の概要説明



環境美化センターにて研修

### 12月定例会の予定

## 12月1日(金)開会

※日程等は、11月下旬の議会運営委員会において正式に決定します。



市議1期 54歳  
故 仲田 佳正 議員

仲田佳正議員が九月二〇日に急逝されました。仲田議員の多大なるご功績をしのび、心からご冥福をお祈り申し上げます。

### 仲田佳正議員 急逝

## 議場見学

10月25日に富戸小3年生が議場見学をしました



### 編集後記

任期満了による伊東市議会議員選挙が九月二四日に行われ、市民の代表として活動する第二〇期議員が誕生しました。

議会報編集委員会も左記メンバーで新たに構成され、新体制で市議会だよりを発行してまいります。

今後も、市民の皆様により身近で、分かりやすい紙面づくりに努めてまいりますので、本誌を通じて、市議会に関心を持っていただき続きご愛読いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

(議長 中島)

### 議会報編集委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 杉本 憲也 |
| 副委員長 | 大川 勝弘 |
| 委員   | 村上 祥平 |
| 〃    | 河島紀美恵 |
| 〃    | 竹本 力哉 |
| 〃    | 田久保真紀 |

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ